



2026年度「ミマモリングアドバンス」 春期セミナー前編





「ミマモリングアドバンス」～セミナーの流れについて～

2026年度 ミマモリングアドバンス 年間スケジュール

開催時間 [13:00-14:55] 全日程共通です。※春夏秋冬どのタイミングからでも受講可能です。

春期 前編	春期 後編	夏期 前編	夏期 後編	秋期 前編	秋期 後編	冬期 前編	冬期 後編
4/7 (水)	6/23 (水)	7/21 (水)	9/29 (水)	10/20 (水)	12/22 (水)	1/26 (水)	3/23 (水)
新年度の子どもたちの発達に合った環境づくり		季節と今の発達に合った遊びや環境づくり		子どもたちの発達に合った行事づくり		移行期を迎える子どもたちの発達に合った環境づくり	

【今回のセミナープログラム】

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認
「見守る保育って」何?!
2. 「ミマモリング」について
先生方が発達を理解するために必要な環境とは?!
3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する
先生が普段、実際に見ている子どもたちに必要な環境とは?!

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認 「見守る保育って」何?!

「見守る保育って」なに?!

チーム保育



異年齢

セミバイキング


ゾーン

選択制

ゾーンを作らないといけないの?
選択制でないといけない?

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認 「見守る保育って」何?!

「見守る保育」を理解する時に、「**保育の考え方**」と「**保育方法**」に分けて考えてみましょう!



「見守る保育」

保育の
考え方


- ・年齢ではなく一人ひとりの発達に合わせる
- ・遊びや環境を通じて子どもの発達を保証する
- ・子ども同士の関係性の中で発達を促す
- ・子どもの主体性を大切に

保育
方法

- ・ゾーン
- ・異年齢
- ・セミバイキング
- ・選択制
- ・チーム保育など

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認 「見守る保育って」何?!


「保育方法」は取り入れていても「考え方」に沿っていない場合は、「見守る保育」が、実践しづらいということになると思います。



大事なことは考え方を理解することです。

こんなこと起きていませんか?

- ・ゾーンはあるけれど、**子どもたちの発達や興味に合っていない**
- ・異年齢で保育をしているけれど、**一斉に同じことをさせている**
- ・一部の時間で選択性を取り入れているけれど、**通常保育は先生が主導している**



1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見守る保育って」何？！

「保育の考え方」をよく見てみると、
指針の内容そのものなのかなと思います。

「見守る保育」は、特別な保育方法ではなく、
子ども主体の保育を目指す考え方そのものです。



保育の
考え方

「見守る保育」

- ・年齢ではなく一人ひとりの発達に合わせる
- ・遊びや環境を通じて子どもの発達を保証する
- ・子ども同士の関係性の中で発達を促す
- ・子どもの主体性を大切にする

見守る保育 = 指針に準拠している

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見守る保育」って何をすれば「見守る保育」になるの？！
「見守る」とは、子どもの何を見守るの？！

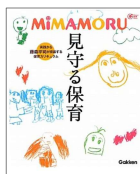
見る (その子の発達状況と興味関心を理解する)

→ 「ミマモリング」

+

守る (発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る)

上記のポイントを守っていくことで、
「見守る保育」の考え方に添いやすくなりますね。



『見守る保育』
藤森 平司著より

1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見守る保育」って何をすれば「見守る保育」になるの？！
「見守る」とは、子どもの何を見守るの？！

さて、この「考え方」に沿うようにしようと思うときに
大事なポイントがあります。

「見守る」という言葉を分解してみましょう。



見る + 守る

「見る」とは何を見て、何を「守る」のでしょうか？



1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

「見る」ことができないと「守る」ことができない

どんなに優れた保育環境でも、目の前の子どもの発達と興味関心に
沿ってなければ意味を成しません。

「見る」 (発達や興味関心を理解する) というのは、

「守る」 (発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る) ためには
欠かすことの出来ないことなんですね。



発達の理解・
捉え方が大切です！



1. 「見守る保育」の考え方と保育方法の再確認

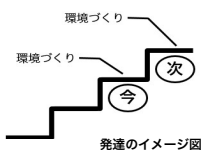
「見守る保育って」何？！

「発達」と「興味関心」を理解するとき、
「興味関心」は子どもを見ていたり、子どもに聞いてみたりすることで
理解しやすいイメージがあります。

しかし、「発達」は子どもに聞いても分かりづらいのではないのでしょうか。
5領域の中で、今の発達がどこで、次の発達は何か。

発達段階を踏まえることが**保育の専門性**でもあります。

さて、だからこそ、先生方が「発達」をしっかりと
見ることができる環境づくりが園として大切なわけです。



2. 「ミマモリング」について

先生方が発達を理解するために必要な環境とは？！

子どもたちがゾーンやコーナーを通して成長していくように
先生方が自然に学べる環境を園内に作っていく必要があります。

今までの発達記録様式は、
年齢別の様式で「手書き式」「チェック式」などがありましたが、
様々な理由から発達理解を難しくさせていました。

なぜ発達の理解が難しかったのかについて、
実際の書類を今から画面に映しますので
考えてみましょう！



3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する
先生が普段、実際に見ている子どもたちに必要な環境とは？！
チェック時の注意事項

チェックをする上では『発達過程』や『発達の連続性』をふまえて
下記に注意して下さい。

①一つの 카테고리内では、歯抜けのチェックにならないようにします

挨拶など	M0 親しみをもって日常の挨拶に応じる。	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
	M1 あいさつや返事など生活や遊びに必要な言葉を使う。	ヒント	<input type="checkbox"/>
	M2 日常生活に必要なあいさつをする。	ヒント	<input type="checkbox"/>
	M3 親いめを持つて日常の挨拶をする。	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
	M4 日常のあいさつ、伝言、質問、応答、報告が上手になる。	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>

②すべての判断基準を満たした場合にチェックを付けるようにします

体を動かす遊び	M0 遊ぶ。	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
	M1 走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ。	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
	M2 壁などで戸外で遊ぶ。	ヒント	<input type="checkbox"/>
	M3 いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。	ヒント	<input type="checkbox"/>

◆**チェック時の注意事項**
発達過程や連続性の見落としがないように
注意しながらチェックをしてください。

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する
先生が普段、実際に見ている子どもたちに必要な環境とは？！

では次は、

見る (その子の発達状況を理解する)

+

守る (発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る)

この2つのポイントについて
「ミマモリング」を実際を使って体験から学んでいきましょう！

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する
先生が普段、実際に見ている子どもたちに必要な環境とは？！

まずは「見る」の視点で
発達チェックを見ていきましょう！



どの発達ができていて、
どの発達ができていないかを評価する

今日の体験メニュー！



3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する
「見る (その子の発達状況を理解する)」ワークショップ①の流れ



3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する
「守る (発達に必要な環境を用意して主体的な育ちを守る) ワークショップ②

続けて「守る」の視点で
発達チェックを見ていきましょう！



今日の体験メニュー！



3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する
① 「守る」視点でチェックを振り返り！

	ヒント	チェック	
		記録	印刷
	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
たり	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
どし	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
る。	ヒント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
りし	ヒント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
など	ヒント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

①チェックが付いている項目に対して、
子どもたちが自ら選択し、思う存分体験できる
環境があるか、皆さんで話し合ってみてください。

例) ハイハイをはじめた子が、十分ハイハイができる
環境があるでしょうか？
→環境がなければ、どのような環境が必要でしょうか？

<これはしないでね！>

- 陥りやすいポイント、よくない使い方
- ・1回出来たからと言って、チェックを付けてしまう！
- ・次の課題だからといって、どんどんやらせている！



3. 陥りやすいポイント

どう活用すると大人主体になりがちか？！

実践あるある

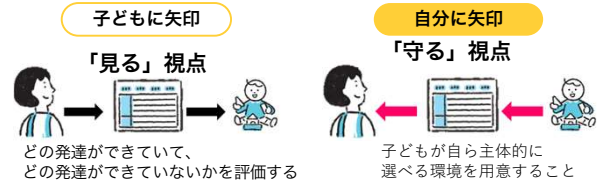
- ・早く発達をさせてあげようと手伝ったり、誘導してしまう
- ・保育者の意図性が強すぎて子どもの本当の声や心情を子ども自身が発することが出来ないようにしてしまう
- ・子どもが決める前に大人が決めてしまう
- ・今の発達状況を十分に味合わせてあげない

助長

- 1 力を添えて、ある物事の成長や発達を助けること。
また、ある傾向をより著しくさせること。
- 2 苗を早く生長させようと思った宋の人が苗を引き抜いて枯らしてしまったという「孟子」公孫丑上の故事から
不必要な力添えをして、かえって害すること。
(goo辞書より)

3. 陥りやすいポイント

自分に矢印を向けてみる



子どもの課題と思っていたことは、私たちの課題？

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

① 「守る」視点でチェックを振り返り！

	ヒント	チェック	
		記録	印刷
たり	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
どし	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
る。	ヒント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
りし	ヒント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
など	ヒント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

①チェックが付いている項目に対して、子どもたちが自ら選択し、思う存分体験できる環境があるか、皆さんで話し合ってみてください。

例) ハイハイをはじめた子が、十分ハイハイができる環境があるでしょうか？
→環境がなければ、どのような環境が必要でしょうか？

→ ①の視点の環境が十分にできている場合のみ次の視点へ

②次の発達に対してその子が主体的・自発的に発達できる環境を用意していますか？
環境がなければどんな環境が必要ですか？
(物的、人的、空間的環境)

その子が出来ないのではなく、次の発達に対して子どもが主体的に発達できる環境を用意しているでしょうか？
→環境がなければ、どのような環境が必要でしょうか？

・時間：12分間
時間が近くなったらお声掛けします。

3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

配慮事項の記入事例

内容	チェック
体を動かす遊び MO 走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ。	<input type="checkbox"/>



コメント (次の計画)

【課題】 体を動かす遊びMO 走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ

【配慮】 1歳児の時にやっていたブロックの型はめボタン落としを大きくしたものに作り替え、全身を使って押す動作が出来るようにした。
子どもたちが好きな電車や動物を引っ張って遊ぶ玩具を作る。

ワークショップ②の流れ

0分 ----- 25分

- ① 「守る」視点で、チェックを振り返り！
- ② ワークシートに実践内容を記入
- ③ チャットに記入
- ④ 参加者と共有！



「保育実践シート」作成のポイント

- その子の今の発達を「存分に体験できる環境」があるかを確認しましょう。その上で、「次の発達」にあった環境が園内にあるかを確認しましょう。
- 一言に子どもに「やらせる」のではなく、子ども自身が「選べる」工夫をしましょう。
- 子どもの興味関心に寄り添った内容を工夫しましょう。
- 環境を用意するだけでなく、発達課題によっては(乳児など)「やってあげる」「助けてあげる」「大人が姿を見せる」などの配慮事項も考えましょう。

■人・物・空間から考えると、環境づくりしやすいですよ！

- 人：子ども同士、子どもと大人などの環境づくり
- 物：玩具や遊具、楽器、家具など物についての環境づくり
- 空間：子どもの発達に合わせたコーナー・ゾーンの環境づくりについて



3. 「見守る保育」の考え方で「ミマモリング」を活用する

① 「守る」視点でチェックを振り返り！

	ヒント	チェック 記録 印刷
	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
たり	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
どし	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
	ヒント	<input checked="" type="checkbox"/>
る。	ヒント	<input type="checkbox"/>
りし	ヒント	<input type="checkbox"/>
など	ヒント	<input type="checkbox"/>

①チェックが付いている項目に対して、子どもたちが自ら選択し、思う存分体験できる環境があるか、皆さんで話し合ってみてください。

例) ハイハイをはじめた子が、十分ハイハイができる環境があるでしょうか？
→環境がなければ、どのような環境が必要でしょうか？

→ ①の視点の環境が十分にできている場合のみ次の視点へ

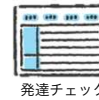
②次の発達に対してその子が主体的・自発的に発達できる環境を用意していますか？
環境がなければどんな環境が必要ですか？
(物的、人的、空間的環境)

その子が出来ないのではなく、次の発達に対して子どもが主体的に発達できる環境を用意しているでしょうか？
→環境がなければ、どのような環境が必要でしょうか？

・時間：12分間

時間が近くなったらお声掛けします。

研修のまとめ



ワークショップ①

今の「発達」と次の「発達課題」の理解

発達チェック

発達理解

ワークショップ②

発達に必要な環境づくり



環境づくりの打ち合わせ

環境設定

ワークショップ③

子どもたちの姿から学び、環境の改善に繋げる



保育実践シート

ワークショップ③（後編のセミナーに向けて）

ワークショップ①と②を踏まえて挙げたアイデア（環境設定や玩具作り、言葉掛け等）を実行してみましょう！

保育室へ行って子どもたちの姿を見たり、保育室の環境設定を変えたりしてみてください。

※すぐに実行が難しい場合には、実行するための準備や打ち合わせなどを行ってください。

期間：5月8日（金）18時まで

次回後編のセミナーで、実践したことを共有しあって学び合いましょう！



セミナー後編までの流れ



※実践発表につきましては、**ご辞退**いただいても差し支えございません。ただし、セミナーの性質上、「保育実践シート」のご提出は、皆さまにお願いしております。

「保育実践シート」の内容に加え、参加者の皆様から寄せられたご質問についてもお答えいたします。
セミナー後編：6月23日（火）